

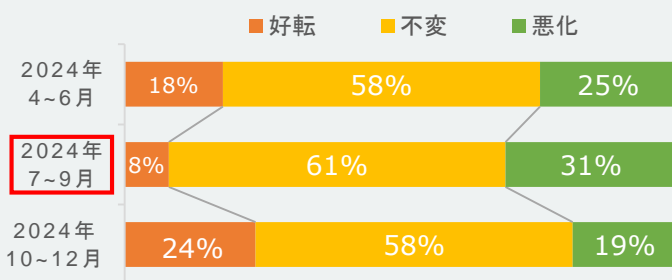
# 川崎商工会議所 中小企業景況調査 2024年7～9月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80事業所 ●調査時期 2024年8月9日～9月3日

## 1 業況について

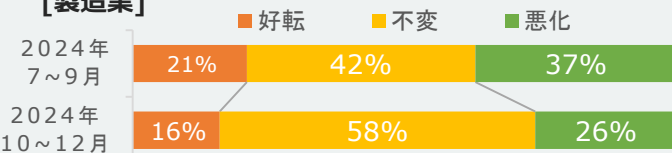
◆今期(7～9月)は好転が減少し、不変・悪化が増加した。業種別で見ても好転と回答した割合は、製造業で約2割、小売業で1割に満たず、建設・卸売・サービス業では0であった。依然として原材料等の価格上昇や材料費・人件費以外の経費の増加の影響が続いていることが窺える。

◆来期(10～12月)では、好転が増加、悪化が減少の予測となった。建設・小売・サービス業では、約3割が好転予測となり明るい兆しが窺える。しかし、建設業では今期と比べて悪化予測も増えており見通しは不安定な状況である。

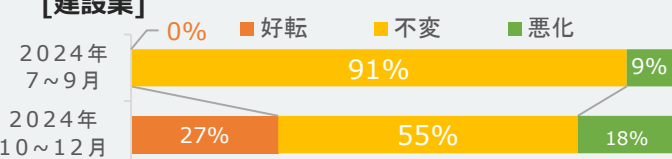


## ■ 業種別

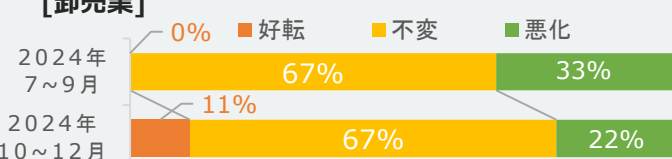
### [製造業]



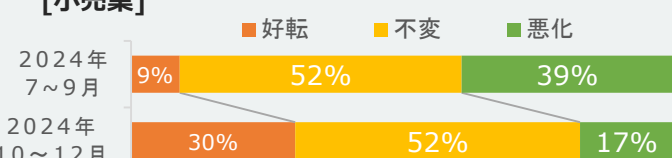
### [建設業]



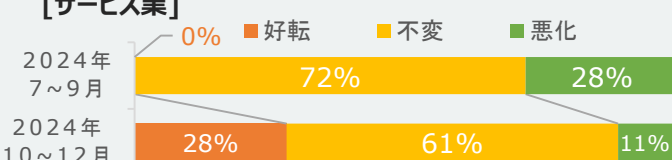
### [卸売業]



### [小売業]



### [サービス業]



## 2 設備投資について

[今期(2024年7月～9月)]

実施した：17.5% 実施していない：82.5%

<実施内容>

設備	OA機器	設備	車両・運搬具	付帯施設	その他
29%	21%	21%	14%	14%	

[来期(2024年10月～12月)]

計画している：10% 計画していない：90%

<計画内容>

設備	車両・運搬具	付帯施設	建物	その他
25%	25%	25%	13%	13%

## 3 経営上の問題点 [複数回答]

◆前期に引き続き「原材料価格(仕入単価)の上昇」がほとんどの業種において1位となっている。また小売業では、「購買力の他地域への流出」が6割以上挙げられており物価上昇によって、消費者の買い回り行動が増加していることが推測される。

◆建設・卸売・サービス業で従業員の確保難が挙げられており、雇用面に課題を抱える業種が多いことが窺える。

### [製造業]

1位	原材料価格の上昇	47%
2位	需要の停滞	37%
3位	原材料費・人件費以外の経費の増加	32%

### [建設業]

1位	材料価格の上昇	73%
2位	・材料費・人件費以外の経費の増加 ・従業員の確保難	45%
3位	・熟練技術者の確保難	27%

### [卸売業]

1位	仕入単価の上昇	44%
2位	・人件費以外の経費の増加 ・需要の停滞	33%
3位	・新規参入業者の増加・店舗・倉庫の狭隘・老朽化 ・販売単価の低下・上昇難・代金回収の悪化 ・事業資金の借入難・従業員の確保難	11%

### [小売業]

1位	購買力の他地域への流出	65%
2位	需要の停滞	52%
3位	仕入単価の上昇	48%

### [サービス業]

1位	材料等仕入単価の上昇	39%
2位	・人件費の増加 ・従業員の確保難 ・熟練従業員の確保難	22%
3位	・店舗施設の狭隘・老朽化 ・人件費以外の経費の増加 ・利用料金の低下・上昇難 ・従業員の確保難 ・事業資金の借入難	17%